第五講　論理構造分析③　「選言」「逆説」「一般化」

「選言」のフレームワーク

①　A　または　B
②　A　あるいは　B
③　A　もしくは、B
④　A　ないし（は）　B
⑤　A　か　B

Ⅰ、「または入れ」＝　本文「A」→解答「AまたはB」は正解
＝　本文「B」→解答「AまたはB」は正解

Ⅱ、「または取り」＝　本文「AまたはB。Aでない」→解答「B」は正解
＝　本文「AまたはB。Bでない」→解答「A」は正解

Ⅲ、「またはひっかけ」＝　本文「AまたはB」→解答「A」は間違い
＝　本文「AまたはB」→解答「B」は間違い

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「逆説（パラドックス）」とは

「逆説」とは二つの意味で押さえてください。

①　一見すると真理に背いているように見えて、実は一面の真理を言い表している表現。
②　解きがたい矛盾を抱えた表現や事態。

「逆説」のフレームワーク

①　A（⊕ or ⊖）するとかえって、B（⊖ or ⊕）→「ならば」系
②　A（⊕ or ⊖）と同時に、B（⊖ or ⊕）→「かつ」系

例文　①　勉強すると、かえって成績が下がる。
②　東大現代文は難しくもあり、同時に簡単でもある。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「一般化」とは

個別的な違いを捨てて共通のものを残すことによって広く通じる概念・法則をつくること。

「一般化」とは個別的、具体的に見れば異なる事象に共通点を見いだして、まだ見たことのない事象にも応用可能な本質的原理を作り出す作業です。この作業はあらゆる学問（科学）の基本であるため、東大はその力その姿勢が受験生にあるのかを見たいのです。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

（次ページより問題演習）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission

「選言」と「逆説」を攻略せよ！

第五講　論理構造分析③　２００７年第四問

（本問は、設問を一部省略して掲載しています）

次の文章を読んで、後の設問に答えよ。

詩におけるさりげない一つの言葉、あるいは絵画におけるさりげない一つのタッチ、そうしたものに作者の千万無量の思いが密（ひそ）かにこめられたとしても、そのように埋蔵されたものの重みは、容易なことでは鑑賞者の心に伝わるものではあるまい。作品と鑑賞者がなんらかの偶然によってよほどうまく邂逅（かいこう）しないかぎり、ア<u>その秘密の直観的な理解</u>はふつうは望めない。

しかし、そうした表現と伝達の事情において、やはり比較的深くといった段階にとどまるものではあるが、例外的と言っていい場合もいくらかはないわけではないだろう。そこでは、時代と個人的な作風との微妙な緊張関係がうまく永遠化されているのだろうが、たとえば十七世紀前半のオランダにおける巨匠レンブラント・ファン・ラインの晩年のいくつかの作品に眺められる重厚な筆触の一つ一つは、今日のぼくなどにまで、そこにこめられているにちがいない経験の痛みのようなもの、言いかえれば、人生

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

への深沈とした観照の繰返された重さをひしひしと感じさせるようである。「レンブラント、呟(つぶや)きに満ちあふれた悲しい病院」と歌ったのはボードレールであるが、そうした呟きの一つ一つに、こちらの内部に谺(こだま)する、いくらか暗く、そしてはげしい人間的な哀歓を感じるのである。

　レンブラントのそうした作品の中から、有名な傑作ではあるが、ぼくはここにやはり、『ユダヤの花嫁』を選んでみたい。彼の死に先立つ三年前に描かれたこの作品のモデルは、息子のティトゥスとその新婦ともいわれ、また、ユダヤの詩人バリオスとその新婦ともいわれている。さらに、旧約聖書の人物であるイサクとリベカ、あるいはヤコブとラケルをイメージしたものだともいわれている。しかし、そうした予備知識はなくてもいい。茶色がかって暗く寂しい公園のようなところを背景にして、新郎はくすんだ金色の、新婦は少しさめた緋(ひ)色(いろ)の、それぞれいくらか東方的で古めかしい衣裳をまとっているが、いかにもレンブラント風なこの色調は、人間の本質についての瞑想(めいそう)にふさわしいものである。そうした色調の雰囲気の中で、いわば、筆触の一つ一つの裏がわに潜んでいる特殊で個人的な感慨が、おおらかな全体的調和をかもしだし、素晴らしい普遍性にまで高まって行くようだ。この絵画における永遠の現在の感慨の中には、見知らぬ古代におけるそうした場合の古い情緒も、同じく見知らぬ未来におけるそうした

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「選言」と「逆説」を攻略せよ！

場合の新しい情緒も、イひとしく奥深いところで溶けあっているような感じがする。こうした作品を前にするときは、人間の歩みというものについて、ふと、巨視的にならざるをえない一瞬の眩暈（げんうん）とでも言ったものを覚えるのである。

　ところで、この場合、問題を集中的に表現しているものとして、新郎と新婦の手の位置と形、そしてそれを彩る筆触に最も心を惹（ひ）かれるのは、きわめて自然なことだろう。なぜならそれは、夫婦愛における男と女の立場のちがい、そして性質のちがいを、まことに端的に示しているように思われるからである。男の方の手は、女を外側から包むようにして、所有、保護、優しさ、誠実さなどの渾然（こんぜん）とした静けさを現わしているし、女の方の手は、男のそうした積極性を今や無心に受け容（い）れることによって、いわば逆の形の所有、信頼、優しさ、献身などのやはり溶け合った充実を示しているのだ。

　ぼくが嘆賞してやまないのは、こうした瞬間を選びとったというか、それともそこに夥（おびただ）しいものを凝縮したというか、いずれにせよ、狙（ねら）いあやまらぬレンブラントの透徹していてしかも慈しみに溢（あふ）れた眼光である。暗くさびしい現実を背景として、新しい夫婦愛の高潮し均衡する、いわばこよなく危うい姿がそこには描きだされているのである。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Anatomy of Victory　本文分析

ぼくは今、「危うい」と書いた。それは苛酷(かこく)な現実によって悲惨なものにまで転落する危険性が充分にあるというほどの意味である。その悲惨は、人間が大昔から何回となく繰返してきた不幸である。しかし、この絵画にかたどられようとしている理想的な美しさは、ウ人間が未来にわたってさらに執拗(しつよう)に何回となく繰返す希望といったものだろう。

先ほどボードレールの詩句を引用したせいか、彼の『覚え書き』の中のある個所がここでまたふと思いだされる。もっともそれは、レンブラントとはまったく関係なしに書かれた言葉で、男女の愛について述べられた抽象的な一つの感想である。彼はこう言っている、「恋愛は寛容の感情に源を発することができる。売春の趣味。しかし、それはやがて所有の趣味によって腐敗させられる。」

いかにも『悪の花花』の詩人にふさわしい言い廻(まわ)しであり、世俗の道徳の権威に反抗して、性愛における「自我の蒸発と集中」の自由をのびやかに擁護しているものだろう。ぼくもまた、快楽主義と言うよりは一種の潔癖な独立の趣味を想像させるこのアナルシーに、爽(さわ)やかな近代の感触をおぼえるものである。しかし、レンブラントの『ユダヤの花嫁』のように時代を超えて人間の永遠的なものを啓示している絵画を前にするとき、ぼくは、そこで成就されている所有の高次な肯定――純粋な相互所有による腐

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Mission
「選言」と「逆説」を攻略せよ！

敗の消去法とでもいった深沈とした美しさの定着に、より強く魅惑されざるをえない。その美しさは、先ほど記したように、危うく脆いものであるかもしれない。しかし、幸福とは、いずれにせよ瞬間のもの、あるいは断続的な瞬間のものだろう。また、この世の中に、絶対的な誠実というものはありえない。ある一人に対する、他の人たちに対するよりも多くの誠実が、結果としてあるだけで、しかも、主観的な誠実が必ずしも客観的な誠実ではないという、困難な状況におかれることもある。したがって、問題は、幸福と呼ばれる瞬間の継起のために、可能なかぎり誠実であろうとする愛の内容が、相互性を通じて、結婚という形式そのものであるような、まさに内実と外形の区別ができない生の謳歌の眩ゆさにあるのだ。

（清岡卓行『手の変幻』）

〔注〕
○レンブラント・ファン・ライン――Rembrandt Harmenszoon van Rijn（一六〇六～一六六九）オランダの画家。
○ボードレール――Charles Pierre Baudelaire（一八二一～一八六七）フランスの詩人。
○アナルシー――anarchie（フランス語）無秩序。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈠「その秘密の直観的な理解」（傍線部ア）とあるが、どういうことか、説明せよ。

㈡「ひとしく奥深いところで溶けあっているような感じがする」（傍線部イ）とあるが、「ひとしく奥深いところで溶けあっている」とは、どういうことか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈢　「人間が未来にわたってさらに執拗に何回となく繰返す希望といったものだろう」（傍線部ウ）とあるが、「執拗に何回となく繰返す希望」とはどういうことか、説明せよ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講

論理構造分析③　講義のまとめ

「選言」のフレームワーク ①

「逆説」のフレームワーク ②

に注意して、読み、書く。

「具体例」などの長い記述は、③する。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第五講　論理構造分析③「選言」「逆説」「一般化」

２００７年　第四問　清岡卓行『手の変幻』

要旨

　作者が作品に千万無量の思いを密かに込めたとしても、通常その想いの重みは鑑賞者には伝わらない。しかし、その想いが例外的に伝わる場合がある。レンブラントの『ユダヤの花嫁』に密かに込められた思いは、いつの時代の人間にも共通する普遍的なものであるがゆえに、予備知識がなくても鑑賞者に伝わる。

　この『ユダヤの花嫁』にかたどられているのは、結婚に対する苛酷な現実と、それでも夫婦の愛を誓うことで幸福な時間を継続したいという理想である。お互いに誠実を誓い合うということが結婚という形式そのものであるような結婚は、いつの時代においても美しく、魅惑されるものである。

解答

㈠
作者が芸術作品の細部に密かにこめた、人生に対する千万無量の思いを、鑑賞者が何の予備知識にもよらずに心で感じること。

解答ポイント

① 作者が芸術作品の細部（詩や絵画の細部）に密かにこめた、人生に対する千万無量の思い

② 鑑賞者が何の予備知識にもよらずに心で感じる

㈡
作者が作品に密かにこめた特殊で個人的な感慨が、古代から未来までの人間に共通する普遍的な感慨になっているということ。

解答ポイント

① 作者が作品に密かにこめた特殊で個人的な感慨

② 古代から未来までの人間に共通する普遍的な感慨

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

㈢ 苛酷な現実によって悲惨なものになる危険性がありながらも、人間はこれからも夫婦愛を理想として結婚したいと望み続けること。

解答ポイント

① 過酷な現実によって悲惨なものになる危険性

② 人間はこれからも夫婦愛を理想として結婚したいと望み続ける

解説

㈠ 傍線部説明問題

　傍線部のわかりにくい部分を、詳しくわかりやすく説明する問題である。傍線部を分析すると、「その秘密」という指示語、「直感的な理解」という筆者特有の表現がポイントであることがわかる。以上のポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

　まず、「その秘密」であるが、第一段落一文目に「そのように埋蔵されたもの」とある。さらに指示内容を求めると「詩におけるさりげない一つの言葉、あるいは絵画におけるさりげない一つのタッチ、そうしたものに作者の千万無量の思いが密かにこめられた」とあることから、①「作者が芸術作品の細部に密かにこめた千万無量の思い」であることがわかる。

　次に「直観的な理解」であるが、「鑑賞者の心に伝わること」である。ただし、「直観」の説明としては不十分である。さらに根拠を求めると、例外的に「直観的な理解」が起こる場合の説明をしている第三段落四文目に、「そうした予備知識はなくてもいい」とあることから、②「何の予備知識にもよらずに鑑賞者が心で感じること」と説明するとよい。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

㈡ 傍線部内容説明問題

　傍線部のわかりにくい部分を、詳しくわかりやすく説明する問題である。傍線部を含む一文を分析すると、「この絵画における永遠の現在の感慨」という比喩表現、「見知らぬ古代におけるそうした場合の古い情緒も」「見知らぬ未来におけるそうした場合の新しい情緒も」「ひとしく奥深いところで溶けあっているような感じがする」という比喩表現がポイントであることがわかる。よって、以上のポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

　まず「この絵画における永遠の現在の感慨」であるが、第

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

三段落六文目に①「筆触の一つ一つの裏がわに潜んでいる特殊で個人的な感慨」とある。これは㈠で解答した「作者が密かにこめた特殊で個人的な感慨」である。

　次に、永遠の現在の中に過去も未来も「溶けあっている」という比喩表現は、第三段落六文目の②「おおらかな全体的調和をかもしだし、素晴らしい普遍性にまで高まって行く」ということを表している。「特殊で個人的な感慨」が何の予備知識にもよらずに鑑賞者の心に伝わるのは、それが実は「普遍的な感慨」だからである。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

㈢　傍線部内容説明問題

　傍線部のわかりにくい部分を、詳しくわかりやすく説明する問題である。傍線部を含む一文を分析すると、「この絵画にかたどられようとしている理想的な美しさ」という筆者特有の表現、「人間が未来にわたってさらに執拗に何回となく繰返す希望」という筆者特有の表現がポイントであることがわかる。よって、以上のポイントを説明するための根拠を本文中に求める。

　まず「この絵画にかたどられようとしている理想的な美しさ」は、第五段落二文目の「暗くさびしい現実を背景として、新しい夫婦愛の高潮し均衡する、いわばこよなく危うい姿」である。ただし、これではまだわかりにくいので、さらに説明を求める。すると、第六段落二文目に①「苛酷な現実によって悲惨なものにまで転落する危険性が充分にある」というのが「危うい」の意味であることがわかる。

　ただし、これだけでは「理想的な美しさ」にはならない。「新しい夫婦愛の高潮し均衡する」という部分の説明が必要である。それが、傍線部「人間が未来にわたってさらに執拗に何回となく繰返す希望」である。そして、「夫婦愛が高潮し均衡する」瞬間は、「花嫁になる瞬間」＝「結婚」である。つまり、②人間はさらに繰り返し「結婚」を希望するということである。

　以上のポイントをまとめて解答を構成するとよい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。